

支部Newsletter

北海道支部

◎第69回大会の開催(報告)

10月6日(日)に本支部第69回大会が北海道教育大学旭川校にて開催されました。今大会では、3件の研究発表、2件の招聘発表、特別講演「J・A・シモンズ『自伝』における欲望、教養、言語」、語学部門セミナー「ヴェルネルの法則の一般化における諸問題」、文学部門シンポジウム「呼応する、女性のモダニズム—左川ちか、ヴァージニア・ウルフ、ゾラ・ニール・ハーストナー」、語学部門シンポジウム「統語部門と外部システムのインターフェイスに課される条件について」が行われ、充実したプログラムとなりました。

◎理事会および総会について(報告)

支部大会当日に開催された理事会では、議題と報告事項がそれぞれ4件ありました。支部の活動方針や会計状況等について議論・承認された後、会計状況等および2025年度の支部大会開催ブロックが提案され、承認されました。同日開催された総会では、活動報告、決算報告、次年度支部大会開催ブロックの報告がなされました。

◎道南ブロック企画事業(報告)

11月2日(土)、令和6年度函館英語英文学会研究発表会が北海道教育大学函館校で開催され、本支部が共催しました。

◎『北海道英語英文学』第70号の原稿募集について

現在、『北海道英語英文学』第70号に掲載する原稿を募集しています。締め切りは2025年5月10日必着です。詳細は別途発行の『北海道英語英文学』第69号(『英文學研究 支部統合号』第17巻)の巻末または支部ホームページをご覧ください。

◎第70回支部大会について

2025年度支部大会は、道北・道東ブロックの北海道大学で開催致します。日程については決まり次第、支部ホームページにてご案内致します。

ます。

◎2025年度の事務局について

2025年度の事務局は下記にて運営しております。

〒069-8555 北海道江別市文京台11番地
札幌学院大学 江別キャンパス
山添研究室内

[TEL] 011-386-8111 (代表)

[メールアドレス] hokkaido@elsj.org

[ホームページ]

<http://www.elsj.org/hokkaido/>

◎会員情報更新のお願い

氏名、住所、メールアドレス、職位、勤務先の異動等があった際には、速やかに日本英文学会本部事務局ならびに支部事務局へご連絡ください。また、メールアドレスを登録されていない方はご登録をお願い致します。ご登録の際には、本部と支部の両事務局にお届けくださいますようお願い申し上げます。

(文責：三好暢博)

東北支部

◎第79回支部大会開催報告

第79回東北支部大会が2024年11月30日(土)に開催されました。参加者はおよそ50名を数えました。5件の研究発表および2件のシンポジウムが行われ、活発な質疑応答が展開されました。

今回も、対面形式で開催しました。様々な協議と入念な準備を経て開催し、無事に終わることができました。大会準備委員ならびに開催校委員の皆様、研究発表された皆様、司会およびシンポジウムの講師を務められた皆様、そして当日参加された会員の皆様には、この場をお借りして心よりお礼申し上げます。

詳細は東北支部ホームページ(<http://www.elsj.org/tohoku/index.html>)をご覧ください。

◎東北支部研究振興事業「若手研究者のためのトラベルグラント」次回締切

東北支部の研究振興事業「若手研究者のため

の「トラベルグラント」は若手研究者の支援を目的とし、4月1日、10月1日と年2回の締切を設けて募集を行なっています。次回の締切は2025年4月1日です。応募希望者は、支部ホームページ上にある申請書ファイルをダウンロードのうえ、事務局(tohoku@elsj.org)宛にご応募ください。

◎支部役員選出

9月から10月にかけて支部役員選挙が実施され、選挙結果にもとづいて次期役員が選出されました。新たに選出された支部・本部役員、理事は、以下のとおりです。

支部長・本部理事：大貫隆史(東北大学)

副支部長・本部評議員：福士航(東北学院大学)

理事：井出達郎(東北学院大学)、大貫隆史(東北大学)、川田潤(福島大学)、木村宣美(弘前大学)、三枝和彦(山形大学)、酒井祐輔(宮城学院女子大学)、境野直樹(岩手大学)、佐々木和貴(秋田大学)、島越郎(東北大学)、高田英和(福島大学)、福士航(東北学院大学)

◎『東北英文学研究』第15号発行および第16号原稿募集

『東北英文学研究』第15号が『英文学研究 支部統合号』第17巻に合本される形で発行されました。また、現在『東北英文学研究』第16号の原稿を募集しています。締切は2025年4月30日です。支部ホームページにある投稿規程をご覧の上、事務局(tohoku@elsj.org)宛に、どうか奮ってご応募ください。

(文責：高田英和)

関東支部

◎2025・2026年度日本英文学会関東支部役員選挙結果報告

2024年10月7日(月)締切にて電子投票により関東支部役員選挙を実施しました。結果を下記のとおり報告いたします。

【選挙選出理事10名】(五十音順、敬称略)

阿部公彦(東京大学)、石原剛(東京大学)、

大石和欣(東京大学)、大串尚代(慶應義塾大学)、越智博美(専修大学)、佐藤和哉(日本女子大学)、佐藤光重(慶應義塾大学)、秦邦生(東京大学)、ハーン小路恭子(専修大学)、原田範行(慶應義塾大学)

* 理事会選出理事は、2024年度第3回理事会(2025年3月末開催予定)にて正式に承認されます。

【2025年度日本英文学会関東支部】(敬称略)

支部長 佐藤和哉(日本女子大学)

副支部長 未定

本部理事候補 阿部公彦(東京大学)、佐藤和哉(日本女子大学)、1名未定

本部評議員候補 未定

本部監事候補 未定

事務局長 塚田雄一(成蹊大学)

◎関東支部第25回大会(2024年度秋季大会)について

日本英文学会関東支部第25回大会(2024年度秋季大会)は、2024年11月2日(土)に専修大学神田キャンパスにて開催され、盛会のうちに無事終了することができました。当日ご登壇、ご発表くださった皆様、ご参加くださった皆様に重ねて御礼申し上げます。開催のために大変ご尽力くださった大会準備委員の皆様にも感謝申し上げます。

◎関東支部第26回大会について

全国大会が2025年5月31日(土)・6月1日(日)に東京大学本郷キャンパス(東京都文京区)で開かれるため、関東支部の夏季大会は開催されません。第26回大会は、2025年11月9日に東京農業大学世田谷キャンパスでの開催を予定しております。研究発表応募締切は2025年6月末の予定です。懇親会の詳細については、2025年4月の大会準備委員会にて決定されます。今後、関東支部HP(<https://www.elsj.org/kanto/>)他を通じて続報をお知らせいたします。

◎ハラスメント委員の選出について

2025年度より日本英文学会ハラスメント相

談委員会が正式に発足することに伴い、各支部を代表するハラスメント相談委員(輪番制)が就任する見込みです。関東支部からは以下2名の委員を推薦することをご報告いたします。

【関東支部選出委員候補】(敬称略)

舌津智之(立教大学、2025・2026年度の二年間)

高桑晴子(お茶の水女子大学、2026・2027年度の二年間)

◎『関東英文学研究』第18号について

『関東英文学研究』第18号への投稿を募集しております。締め切りは2025年5月15日(木)です。奮ってご投稿ください。投稿規定につきましては、関東支部HP、および『関東英文学研究』第17号の巻末をご覧ください。

◎2024年度関東支部総会報告

2024年11月2日(土)に専修大学神田キャンパスにおいて2024年度関東支部総会が開催されました。主な議題は以下の通りです。

1. 支部長報告(2025・2026年度日本英文学会関東支部理事会の構成について、2025年度全国大会開催校について、ハラスメント相談委員の選出について、関東支部出版事業について)
2. 大会準備委員会報告(2024年度支部秋季大会について、2025年度夏季大会不開催について)
3. 編集委員会報告(『関東英文学研究』第17号、第18号について)
4. 事務局報告(2024年度日本英文学会関東支部事務局の構成について、2023年度収支決算・会計監査について、関東支部の講師派遣事業について、関東支部ウェブページのリニューアルについて)

◎理事会報告

2024年11月2日(土)に専修大学神田キャンパスにおいて2024年度第2回理事会が開催されました。主な議題は以下の通りです。

○報告事項

1. 支部長報告(2024年度第1回理事会議事録確認、2024年度総会の開催について、2025・

2026年度関東支部理事役員選挙結果について、2025年度全国大会開催校について、ハラスメント相談委員の選出について、支部出版事業『教室の英文学』第2巻発行について)

2. 大会準備委員会報告(2024年度秋季大会、2025年度秋季大会、次年度の委員人事など)
3. 編集委員会報告(『関東英文学研究』第17号、第18号、次年度の委員人事など)
4. 事務局報告(2023年度会計監査、講師派遣事業、関東支部ウェブページのリニューアルについて)

○審議事項

1. 関東支部および日本英文学会本部理事会新体制(2025・2026年度)について
2. 2025年度予算案について

◎編集委員会報告

2024年9月14日(土)に、Zoomミーティングにて2024年度第3回編集委員会が開催されました。主な議題は以下の通りです。

1. 2024年度優秀論文賞・若手奨励賞について該当論文なし
2. 特別寄稿論文査読報告、判定
3. 2024年度再投稿論文査読報告、判定
4. 2025年度の後任委員人事(敬称略)

2025年度編集委員長 佐久間由梨(早稲田大学)

植月恵一郎(日本大学)→久保陽子(日本大学)
本山哲人(早稲田大学)→小泉勇人(東京科学大学)

浦野郁(共立女子大学)→吉野由起(東京女子大学)

中井理香(立正大学)→近藤直樹(日本大学)
山本洋平(明治大学)→野崎直之(東京薬科大学)

吉田要(日本工業大学)→古村敏明(明治学院大学)

塩原佳世乃(東京女子大学)→武久智一(埼玉県立大学)

◎大会準備委員会報告

2024年11月2日(土)に専修大学神田キャンパスにおいて2024年度第3回大会準備委員会が開催されました。主な議題は以下の通りです。

1. 2025年度副委員長(2026年度委員長)の選出(敬称略)
山口敬雄(東京福祉大学)が2025年度副委員長に選出された。なお、2025年度委員長は山中章子(日本工業大学)。
2. 2025年度の後任委員人事(敬称略)
川本玲子(一橋大学)→鈴木孫和(立教大学)
橋本健広(中央大学)→工藤紅(立正大学)
ハーン小路恭子(専修大学)→関根全宏(東京家政大学)
柳川浩三(法政大学)→加藤洋昭(聖徳大学)
3. 今後の大会企画担当
4. 2025年度秋季大会について(2025年11月9日(日)に東京農業大学世田谷キャンパスにて開催の予定であり、懇親会の有無については2025年4月に開催される委員会で正式に決定する見込み)
5. その他検討事項
6. 今後の予定

◎事務局よりご連絡

1. 上述の通り、次回の関東支部大会は2025年度秋季大会となります(11月9日開催予定)。研究発表への積極的な応募をお待ちしています。応募締切は2025年6月末です。さらなる詳細は関東支部HP (<https://www.elsj.org/kanto/>)にて後日公開予定です。
2. 『関東英文学研究』第17号には、8本(イギリス文学5本、アメリカ文学3本)の投稿論文が寄せられ、そのうち3本が掲載されました。今後も関東支部は、意欲ある研究者を応援いたします。優秀な論文には、新人奨励賞・優秀論文賞を授与しています。ぜひ積極的にご投稿ください。
3. 2024年8月23日(金)に岡山シンフォニーホールにて、岡山県立岡山朝日高等学校進路教養講座講演会(日本英文学会関東支部共催)「学問の魅力——英語学習の楽しみ」が開催されました。講師は東京大学名誉教授の斎藤兆史先生(関東支部理事)です。本講演会は関東支部の講師派遣事業の一環とし

ておこなわれました。

4. 関東支部では、中学校、高等学校、大学、社会教育施設、生涯教育機関を対象に、日本英文学会関東支部の会員を英米文学、英米文化、英語、英語教育に関する講演や授業に講師として派遣し、ひろくその理解を深める機会を提供しています。講師派遣に関わる講演料の一部は関東支部の基金から支出します。講演や授業をご希望の中学校、高等学校、大学、社会教育施設、生涯教育機関関係者の方々は、ぜひ関東支部事務局(kanto@elsj.org)までご連絡ください。詳しくは、支部HPの「講師派遣事業」のページ(<https://www.elsj.org/kanto/haken/>)をご参照ください。
5. 日本英文学会関東支部のウェブページが、2024年の秋にリニューアルされました。これに伴い、頻発していたアクセス不良の問題も解決されました。これまで以上に使いやすいウェブサイトを目指し内容を充実させてまいりますので、ぜひご活用ください。
(文責：木谷 厳)

中部支部

◎第76回支部大会報告

中部支部第76回大会は、愛知淑徳大学において2024年9月22日(日)に開催されました。特別講演、シンポジウム2件、研究発表9件がおこなわれ、100名近くの参加者がございました。例年より1か月ほど早い開催となりましたが、多く方にご参加いただき、盛会のうちに終了いたしました。ご参加いただいた会員の皆様、特別講演講師、シンポジウム講師、研究発表者、司会者、大会準備委員の皆様には厚くお礼申し上げます。大会プロシーディングスは、中部支部ホームページに掲載されておりますので、ぜひご覧ください。また、発表者の皆様におかれましては、今回のご発表の内容をぜひ論文にまとめ、『中部英文学』へのご投稿をご検討いただけましたら幸いです。

◎支部総会報告

支部大会当日に開催された総会において、以下の議題が報告され、また審議・承認されまし

た。総会資料・議事録につきましては、支部ホームページに掲載されております。

1. この一年の活動報告
2. 次年度以降の事務局担当校ならびに支部大会開催校
3. 前年度会計決算報告
4. 今年度予算案
5. 支部大会研究発表応募要領の改正

◎『中部英文学』第45号原稿の募集

『中部英文学』第45号の投稿締切は4月10日(木)です。投稿規定を熟読・厳守のうえ、奮ってご応募ください。ここ数年は投稿数が少なくなっております。会員の皆様におかれましては、学会誌の質の維持のために、『中部英文学』へのご投稿をご検討いただけましたら幸いです。

◎第77回支部大会研究発表の募集

第77回支部大会は2025年10月25日(土)に中部大学(愛知県春日井市)にて開催予定です。研究発表応募締切は5月31日(土)となっておりますので、応募要領を熟読され、奮ってご応募ください。

◎常に最新の会員情報をお知らせ下さい

氏名、住所、メールアドレス、勤務先、職位等の異動がおありの場合は、すみやかに本部事務局と支部事務局の両方にご連絡ください。また、メールアドレス未登録の方は、業務効率化のため、ぜひともご登録をお願いいたします。いただいた個人情報、中部支部の業務のみに使用し、他の用途には使用いたしません。

(文責：二村慎一)

関西支部

◎関西支部第19回大会について

2024年12月14日(土) 11:00より、関西外国語大学にて関西支部第19回大会が開催されました。当日の登壇者並びに管理運営に携わって下さった皆様に厚く御礼申し上げます。今回は4件の招待発表を含む18件の研究発表と、英米文学部門および英語学部門の2件のシンポジウムが行われました。出席者は100名を超え、盛

況のうちに大会は終了しました。来年度の大会も皆様と会場でお目にかかれることを期待したいと存じます。

◎役員会および総会について

支部大会当日に開催された理事・評議員合同役員会では、機関誌編集委員長代理と大会準備委員長からの報告、昨年度の会計報告に引き続き、第20回支部大会は摂南大学を開催校として2025年12月13日(土)に実施予定であることが支部長から報告されました。また、2026年度に関西支部がホストを務める全国大会が同志社大学今出川キャンパスで開催されること、本部からの支部支援金の算出方法が一部改正されることが支部長から報告されました。最後に次期支部役員体制が支部長から報告され、次期支部長の横内一雄氏から挨拶がありました。総会でも以上の内容とほぼ同様の報告がなされ、来年度の支部大会会場となる摂南大学の開催校委員から挨拶がありました。

◎機関誌第19号の投稿について

『関西英文学研究』第19号の投稿締切は4月末日です。電子媒体での投稿となります。詳しくはHPで投稿規定をご確認ください。なお、修士号取得7年以内の関西支部会員ならびに準会員による優れた論文には関西支部奨励賞(過去にこの賞を受賞していない者が対象)が授与されます。奮ってご投稿ください。

◎関西支部第20回大会の研究発表の応募について

関西支部第20回大会は、2025年12月13日(土)に摂南大学にて開催される予定です。日程は変更の予定があるため、開催様式の通知も含めて、支部ホームページを随時ご確認ください。また、研究発表の応募締切は6月下旬を予定しておりますが、詳細については、HPでご確認ください。奮ってご応募ください。

◎関西支部の各種事業について

現在関西支部では、支部機関誌の発行と支部大会の開催に加えて、海外研究者招聘後援事業、講演会補助事業、学会発表補助事業を行っています。以上、事業の趣旨に合致するケース

がありましたら、是非ご活用ください。規約、役員、機関誌の投稿規定、奨励賞の選考基準、研究発表の応募要項、各種事業の詳細については、関西支部ホームページをご覧ください。

(文責：金山亮太)

中国四国支部

◎中国四国支部第76回大会報告

2024年11月2日(土)・3日(日)の両日、就実大学において中国四国支部第76回大会が開催され、盛会のうちに全プログラムを無事に終了することができました。開催校責任者の渡辺浩氏(就実大学教授)を始めとする開催校のご関係者、および岡山県の会員の皆様には大変お世話になりました。この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

第1日目は、小野章副支部長による開会の辞をもって開会式が行われたあと、研究発表、特別講演、懇親会が行われました。研究発表は、英語学関係3件、イギリス文学関係3件、アメリカ文学関係3件、英語教育関係3件の計12件が行われました。このうち、英語学関係では、五百藏高浩氏(高知県立大学教授)による招待発表「英語の派生接尾辞-ify/-izeの付加に見られる基体の変化について」(司会：山口大学教授 太田聡氏)が行われました。また英語教育関係では、那須雅子氏(岡山大学教授)による招待発表「大学生の専門領域と英語学習の動機付け：ナラティブアプローチによる分析と考察」(司会：広島大学教授 小野章氏)が行われました。特別講演は、森慎一郎氏(京都大学教授)による「オールド・ギャツビー、オールド・スポーツ——『ギャツビー』100歳に寄せて」(司会：広島大学教授 大地真介氏)がありました。特別講演のあと、就実大学生協カフェテリアにて懇親会を行いました。

第2日目は、安田女子大学教授の高口圭轉氏(司会)の主導のもと、堀正広氏(熊本学園大学教授)、渡辺拓人氏(関西学院大学准教授)、富村憲貴氏(熊本大学准教授)、池田裕子氏(熊本大学非常勤講師)によるシンポジウム「英文学作品におけるBody Language研究—中世から近現代にかけて—」がありました。そのあと、太田聡支部長の閉会の辞をもちまして、全日程を

終了しました。

◎理事会報告

第76回大会に先立ち、10月31日(木)午後のオンライン理事会にて次の議題が審議されましたのでご報告いたします。

1. 会計報告および会計監査報告

周躍事務局長補佐が2023年度決算報告を行い、会計監査(栗原武士氏、西野友一朗氏)により適切に会計処理されていることが報告され、承認されました。

2. 第77回支部大会について

日本英文学会中国四国支部第77回大会は、2025年10月25日(土)・26日(日)に、高知県高知市の高知県立大学永国寺キャンパス(開催校責任者：五百藏高浩氏)にて開催されることが報告され、承認されました。

3. 第77回支部大会運営スケジュールについて

第77回大会に向けての準備日程案が提案され、承認されました。

4. 2025年度予算の作成について

2025年度の支部予算の作成方法について、日本英文学会事務局より指示があり次第、予算案を支部事務局で作成し、それを臨時理事会にてメール審議することが提案され、了承されました。

5. 学会誌編集委員の交代について

2024年度末で任期満了となる編集委員について説明があり、2025年度からの学会誌編集委員として以下の通り報告され、承認されました。

藤吉知美氏(2026年度末まで)

松浦加寿子氏(編集補助委員、2028年度末まで)

◎支部理事選挙の結果と新支部理事

支部理事選挙の結果、上利学、五百藏高浩、今林修、大地真介、大野英志、小野章、城戸光世、栗原武士、田多良俊樹、水野和穂(敬称略・五十音順)の10名が新理事に選出されました。

上記10名の新理事による新理事会を開き、「日本英文学会中国四国支部規約」第五条2項に則り、選挙によって選出された新支部理事により、委員会役職、地域性、性別、専攻分野など

を配慮し、池園宏、重松恵梨、周躍、杉田貴瑞、辻祥子、那須雅子、山内暁彦(敬称略、五十音順)が新理事に追加選出されました。任期は2025年4月から2027年3月まで。

◎新支部理事会の報告と新支部体制

1. 新しく選出された理事による新理事会での合議を経て、小野章氏(広島大学)が次期支部長に選出されました。任期は2025年4月から2027年3月まで。
2. 支部規約に則り、次の役員が選出されました。任期は2025年4月から2027年3月まで。(以下、敬称略)
 - ・副支部長：大野英志(広島大学)
 - ・事務局長：西原貴之(広島大学)
 - ・事務局長補佐：周躍(鳥根大学)
 - ・会計監査：上利学(広島文教大学)、水野和穂(広島修道大学)
 - ・選挙管理委員長：城戸光世(広島大学)
 - ・選挙管理委員：栗原武士(県立広島大学)、田多良俊樹(安田女子大学)
3. 各県の推薦制代表者が選出されました(以下、敬称略)。
 - ・鳥取：重松恵梨(鳥取大学)
 - ・鳥根：周躍(鳥根大学)
 - ・岡山：那須雅子(岡山大学)
 - ・広島：大野英志(広島大学)
 - ・山口：池園宏(山口大学)
 - ・徳島：山内暁彦(徳島大学)
 - ・高知：五百藏高浩(高知県立大学)
 - ・愛媛：辻祥子(松山大学)
 - ・香川：杉田貴瑞(香川大学)

◎支部大会開催のお知らせと研究発表の募集

2025年度の第77回大会は、10月25日(土)・26日(日)の両日、高知県立大学永国寺キャンパス(高知市)で開催いたします(開催校責任者：五百藏高浩氏)。大会案内は2025年3月頃にメールおよび支部ウェブサイトにてお知らせします。研究発表の募集の締め切りは、5月15日(木)(必着)です。たくさんのご応募をお待ちしております。

◎学会誌の原稿の募集

支部学会誌『中国四国英文学研究』第22号

(『英文学研究』支部統合号第18号)の原稿を募集いたします。締め切りは、5月15日(木)(必着)です。投稿規程は、支部ホームページ(<https://elsj.org/chu-shi/>)をご覧ください。

◎支部メーリングリストの更新について

支部で使用するメーリングリストシステムをGroupMLに変更することに伴い、2024年7月下旬から8月上旬にかけて、会員の皆様にはGroupMLへの招待メールから登録作業を行っていただきました。ご協力ありがとうございました。

このGroupMLに登録を希望される会員は、支部事務局までメールでご連絡ください。メーリングリストへの登録方法をメールで返信いたします。

メーリングリストの利用により、郵送費などの経費の削減、より迅速な情報提供、より効率的な学会運営が実現できております。メーリングリストへの登録につきまして、ご協力いただきますようお願いいたします。

◎支部ホームページのリニューアルについて

支部ホームページをリニューアルいたしました。新しいURLは、以下の通りです。ブックマーク等の変更をお願いいたします。<https://elsj.org/chu-shi/>

(文責：田多良俊樹)

九州支部

◎日本英文学会九州支部第77回大会は、令和6年10月26日(土)、27日(日)の両日に、福岡大学七隈キャンパス(福岡市)で対面形式により開催いたしました。

◎令和6年度第2回支部編集委員会が令和6年10月26日(土)の午前に、福岡大学で対面により開催されました。また、編集委員会の終了後、第2回支部評議員会・理事会の合同会議が開催されました。主な報告事項、議題は下記のとおりです。議事録は支部ホームページに掲載されていますのでご覧ください。

《編集委員会》

1. 『九州英文学研究』第40号(支部統合号Vol. XVI)と『九州英文学研究』第41号(支部統合号Vol. XVII)の刊行について
 - ・資料に基づき説明があり承認された。当該年度の九州支部学会賞(「優秀論文賞」、「奨励賞」)については、該当者なしとの報告がなされた。
2. 「招待発表者」ならびに懲憑について
 - ・資料に基づき説明があり、懲憑担当者からの申し出があり、承認された。
3. 支部大会統合プロシーディングスについて
 - ・プロシーディング担当の書記より説明があり承認された。
4. 来年度の支部大会について
 - ・鹿児島大学での開催予定について報告がなされ、委員会としても承認した。
5. 編集委員長の交代について
 - ・編集委員長より次期編集委員長をアメリカ文学分野から選出することが提案され、委員会としても承認した。

《支部評議員会・理事会》

1. 活動報告
 - ・『九州英文学研究第40号』刊行、大会ProceedingsのWeb掲載
 - ・第76回支部大会(2023年10月14日～15日)宮崎大学木花キャンパス
 - ・理事会・評議員会(2023年10月14日(土) 11:00～12:00宮崎大学木花キャンパス実験研究棟1階第2会議室、2023年10月21日～27日メール会議、2024年5月28日～6月3日メール会議、2024年10月26日(土) 11:00～福岡大学七隈キャンパス文系センター15階第5会議室、2024年11月29日～12月5日メール会議)
 - ・編集委員会(2023年10月14日(土) 10:00～宮崎大学木花キャンパス実験研究棟1階第2会議室、2023年10月21日～27日(メール会議)、2024年7月27日(土) 13:00～13:40(Zoomによる遠隔方式)、2024年10月26日(土) 10:00～福岡大学七隈キャンパス文系センター15階第5会議室)
 - ・第77回支部大会(2024年10月26日～27日)福岡大学七隈キャンパス
2. 会計報告
 - (1) 2023年度会計報告、監査報告
 - (2) 2024年度中間報告
 - (3) 2025年度予算案
 - ・2023年度(令和5年4月1日～令和6年3月31日)の支部会計報告が行われ、秋好礼子氏(福岡大学評議員)による監査が行われた旨が報告された。いずれについても、議長より資料に基づき説明がなされ、質疑の後、承認された。
3. 統合号出版経費負担について
 - (1) プロシーディングス分担金0円
 - (2) 支部大会資料統合版分担金0円
 - (3) 英文学研究支部統合号第16巻103,908円(第15巻は181,574円(41頁))
 - ・いずれについても、議長より説明がなされ、質疑の後、承認された。
4. 編集委員会報告
 - ・上記の通り。
5. 2025年度全国大会・支部大会の開催大学について

第97回全国大会は東京大学本郷キャンパス(2025年5月31日(土)、6月1日(日))で開催の予定である。また、第78回九州支部大会は鹿児島大学で開催の予定である。
6. 事務局役員名、理事名、評議員名、評議員校、編集委員長
 - ・議長より資料に基づき説明がなされ、承認された。

報告事項：

1. 理事選挙について
 - 議長より今年度は理事選挙の年に当たっており、有権者に投票用紙を送付したことが説明された。
2. 次期支部長と次期事務局について
 - 議長より次期支部長として福岡教育大学の後藤美映教授、次期事務局長として福岡大学の鶴田学教授とすることについて説明がなされ、承認された。
3. ハラスメント防止ガイドラインとハラスメント相談委員について
 - 議長より九州支部のハラスメント相談委員として福岡教育大学の江頭理恵教授とすることについて説明がなされ、承認された。
4. ニュースレターについて

議長より所定の手続きに従って日本英文
学会本部にニューズレターの原稿が提出さ
れたことが報告された。

九州支部ホームページ

<https://kyushu-elsj.sakura.ne.jp/>

(文責：大和高行)